



MIDORI*

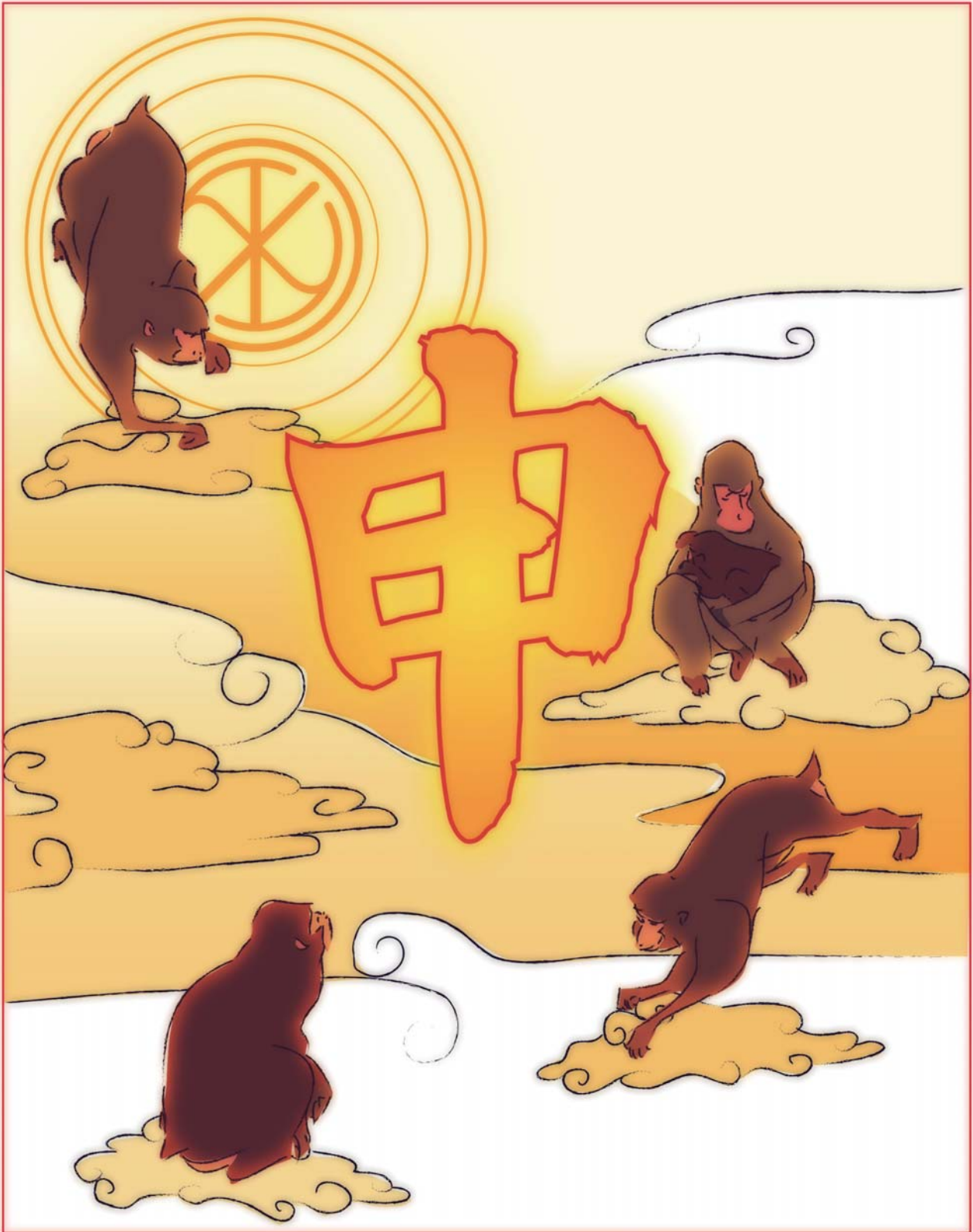
季刊誌

み

ど

り

平成28年
新年号





前常務理事 太田郁子

平成二十七年 十月 十五日 昇天される



小さな想いでと 職員の皆様へ感謝をこめて

創設者（故太田正氣院長）夫人 太田郁子 （明石土山病院 記念誌「三十五年のあゆみ」より抜粋）

「今度心の病をもった方の為に病院をつくることにしたよ。」ある日主人は帰宅するなり言いました。この事は今も耳にのこり、ついこの間の様に思われますのに、このたび創立35周年を迎えましたことは、私にとって感慨無量のものがあります。

多額の借入金で建てた病院、少しでも節約しようと、本館のカーテンを柴田事務長夫人である妹と作ることにしました。安価で見栄えのする生地を三宮の高架下で買い、当時は電気ミシンはないので、毎日カタカタと一人がミシンをふみ、一人が端をひっぱって縫いました。家庭用と違い数多いカーテン、金具をつけるのも一苦勞でしたが、これも新しい出発に胸をとどろかせている私達にはむしろ楽しいことでした。

いよいよ開院の数日前、中野顧問先生の奥様にも手伝っていただいて、これを吊った時のうれしかったこと、思い出の中の一番でございます。以来女が出しゃばることのきらいな主人の方針と、怠け者の私のこととてめったに病院へ行くことはありませんでしたが、折につけ主人を通して職員の皆様のご努力で古くからある大病院のお仲間入りに一步一步近づいたことを知り、本当にうれしく感謝申し上げておりました。

順風満帆の中で昭和61年3月突然主人が天国に召されましたことは、今だに夢の様に思われます。でもこの明石土山病院にとっての一大危機をのりこえ、昭和62年7月には基準看護2類を、昭和63年10月基準看護1類承認病院となり、新病棟も出来、長年の主人の夢が次々と果たせましたことは、偏に全職員皆様のおかげとうれしく存じております。天国の主人もよろこんでこれからも見守ってくれることを信じております。

ここに声を大にして「皆様大変お世話様になりまして有難うございました。この後もどうぞよろしく御願ひ申し上げます。」と心より厚く厚く御礼申し上げます。



▲開院当時の明石土山病院（昭和31年）

レク活動委員会・活動報告 (抜粋)

9月17日(木) 第50回レク活動発表大会

10月7日(水) 第27回ふれあいフェスティバル

11月28日(土) 第11回兵庫県障害者芸術・文化祭

今回、50回目を迎えるレク活動発表大会では、「Yahoo! 検索大賞 2015」の大賞に選ばれた3代目「Soul Brothers from EXILE TRIBEの「R.Y.U.S.E.I.」で、かつてない難しい振り付けへの挑戦でした。不安のままに初ステージは、終わってしまい、その後は、暑さにも負けず、苦しくても笑いを忘れず、練習を重ね、患者様と病棟スタッフのいわくダンスチームができあがりつつありました。

第27回ふれあいフェスティバルの日岡山公園での2回目の発表では、晴天にも恵まれ、明るく楽しく披露できました。

さらに、第11回兵庫県障害者芸術・文化祭での発表では、光の演出も加わり「とても練習されたんですね。よかったですよ。」と主催者の県庁スタッフより、お褒めの言葉を頂き、そのことを出演された各々にお伝えすると、とびっきりの最高の笑顔が返ってきました。

このような、機会に恵まれたこと、そしてご協力いただいた皆様に感謝いたします。ありがとうございました。



10月30日(金) 第25回運動会

天候にも恵まれ、120名の入院患者様にご参加頂き、運動会が開催されました。レク発表大会等で披露されました「R.Y.U.S.E.I.」や職員新種目「明石土山急便」は大変盛り上がりしました。



11月13日(金) 土山祭

恒例の秋の土山祭が職員皆様のご協力のお陰で、無事開催することができました。当日は入院患者様、ご家族様、外来の方等、約150名の方々にご参加頂きました。



精神科デイケア

11月19日(木)

祝・優勝!

第9回兵庫県精神障害者のじぎくスポーツ大会
(精神障害者の部～バレーボール大会～)

11月19日に行われた、バレーボールの県大会において、見事に優勝する事ができました。

コートの中・外からコミュニケーションがしっかりとれていたことが勝因だと感じました。また、他のチームからも「優勝おめでとう」と声をかけていただきました。プレー中はライバルでも試合が終わると、同じバレー好き仲間。スポーツマンらしいですが、すがすがしい交流がうれしかったです。

2020年、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。パラリンピックはオリンピックと比べるとどうしても扱いが小さくなってしまっているのが現状です。スポーツを通じた社会参加を足がかりに、2020年には障害者の社会参加が「あたりまえ」となるような社会を目指して、小さいながらも活動を続けていきます。



研修会報告 (抜粋)

7月21日(火) 看護研究発表会

毎年11月に行われる日精看兵庫支部看護研究発表会での発表に向けて、院内発表会を実施しました。他病棟から様々な意見をもらい、修正を行い、無事に支部での発表を終えました。



11月17日(火) 行動制限最小化研修会②

行動制限最小化に向けての取り組みを理解し、実践に活かすことを目的とし、「認知症治療病棟における身体拘束者数削減への取り組み」についての発表と拘束体験を行いました。



8月20日(火) 褥瘡について

明石医療センター皮膚・排泄ケア認定看護師の渡邊香織さんに、当院に沿った内容で「褥瘡ケアの基本と実際」をテーマに褥瘡の定義・分類・処置・事例の研修会をして頂きました。



12月15日(火) 勉強会④「発達障害について」

今年は看護部で4回の勉強会を実施しました。教育委員が2人でペアとなり、それぞれが決めたテーマに沿って企画・準備・進行を行い、充実した勉強会を実施することが出来ました。





早期に発見、早期に治療。

認知症・うつ病の検査

脳と心のドック

MRI検査・光トポグラフィ検査・心理テスト

光トポグラフィ装置を導入した、比較的簡単に検査を受けられるようにと開始した当院のうつ病と認知症に重点を置いたドックも、この1月で2周年を迎える事になりました。老若男女問わず、様々な方にご利用頂きまして、誠にありがとうございます。今後もより利用者様方に安心と納得の頂ける検査を目指して精進したいと思いますので、宜しく御願い致します。

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	○
午後	○	○	○	○	○	/
ご予約受付時間 午前9:00~午後4:00 (土曜11:30まで)						

火・水・土曜の午前中に検査を受けられる方のうち、ご希望の方には当院院長による診察も行っております(無料)

※ご予約頂く際にお申し付け下さい。また検査当日に院長の急な予定等、都合により診察を受けられない場合もございますのでご了承下さい。

全検査コースでも、わずか1時間半程でできる検査です。

早期発見に向けて定期的に受診して頂く事もお勧めしています。

お問い合わせ：078-942-1021

明石土山病院「脳と心のドック」受付まで

○ 全検査コース

MRI 又は CT検査



光トポグラフィ検査



心理テスト

検査料：35,000円(税込)「脳と心のドックの会」会員の方は、2回目以降割引あり。

○ 光トポグラフィ検査コース

光トポグラフィ装置は、うつ病の鑑別診断に有用な機器です。特にうつ病検査をご希望の方に。

光トポグラフィ検査



心理テスト

検査料：15,000円(税込)



※ペースメーカーを利用された方、体内に金属を施術された方など、一部の方はCTによる検査となります。

※脳と心のドックは保険適用外の自由診療です。又、上記検査料以外に費用が発生する事はございません。

※心のドックは、検査の意図をもっと強くお伝えする為に「脳と心のドック」と名称変更致しました。

※料金などは平成27年12月現在のものです。



⊗ 医療法人社団 正仁会

基本理念

『人間愛に満ちた医療と愛情こもる看護・介護』

明石土山病院
介護老人保健施設希望
つちやま訪問看護ステーション
宿泊型自立訓練事業所みどり寮
共同生活援助事業所グループホームノア

ホームページも是非ご覧下さい

- PC・タブレット・スマートフォン
<http://www.athp.jp/>
- 携帯用(i-mode)
<http://www.athp.jp/i/>



〒974-0074

兵庫県明石市魚住町清水2744-30

TEL: 078-942-1021

FAX: 078-941-1573

E-Mail: info@athp.jp